



「非常通信協力会」会長 杉江 久男さん

2020/3/31 の朝日新聞奈良版に JH3ISO局と I A E 設立の紹介記事が掲載されました。

災害被害状況 無線で役所に

生駒

大災害時に身近な被害情報を無線機で役所に伝える仕組みをつくらうと、生駒市で2月に「市アマチュア無線非常通信協力会」(IAE)が設立された。会長で、自動車の電装整備会社を営む杉江久男さん(66)は、「仲間を増やして市内をくまなく

カバーしたい」と話す。

旧日本陸軍の通信兵だった父親がモールス信号を覚えてくれたのがきっかけで、無線通信に興味をもった。旧県立奈良工業高校1年の時、電話級(現在の第4級)アマチュア無線技士の国家資格を取り、卒業までに第1級を取得。1967年6月に発足した「生駒アマチュア無線クラブ」に所属し、マイクが付いた通信機を使って遠くにいる愛好家たちと交信した。

父から会社を継ぎ、ここ35年ほどは仕事に追われていた。そんな中、各地で大きな自然災害が起きていることから「災害時は無線機が役立つのでは」と思い立った。市には避難情報などを市民に知らせる防災行政無線(屋外スピーカー)があるが、市民から市にきめ細かな被害状況を伝えるのは困難。それをアマチュア無線の愛好家が担う考え。

IAEは現在約20人。おおむね市全体に広がるが、空白地帯はまだある。毎週木曜の夜、メンバーたちと通信訓練しており、「若い世代も資格を取って入会してほしい」と呼びかけている。市と協力の仕方について検討を進め、今年の総合防災訓練に参加するのが当面の目標だ。

(伊藤誠)